

平成19年度行政評価(平成18年度実施計画事業)

No.	事業名称	所属名称	事業説明	事業指標	H18年度 決算額 (単位:千円)	事業 の 必要 性	事業 の 優先 性	事業 の 経済 性	事業 の 有効 性	事業 の 公平 性	合計	評価結果の具体的理由	仕分け 結果	評価結果
147	道路整備五箇年計画 策定事業	道路総務課	道路整備を計画的に進めることで、道路交通の安全性の確保、生活環境の改善等の促進を着実に図ると共に、「人・物・情報」の流れの円滑化を促すための事業の必要性等の明確な整理を目的とする。	第6次道路整備5箇 年計画の策定 1業務	5,565	5	5	3	5	5	23	道路整備を計画的に進めるための、第6次道路整備5箇年計画の策定が完了したため。		完了
148	道路用地取得事業(後 退分、未登記分)	道路総務課	建築行為や特定開発事業に伴う道路後退用地並びに未登記道路用地を取得し、歩行者や車両の通行安全を確保するとともに消防等緊急車両の通行障害を解消し、市民の安全で快適な生活を確保することができた。 用地取得面積等 174件 4,266.95㎡	計画に対する 用地取得率 75.65%	252,873	5	4	4	5	5	23	安全で快適な生活を確保するため、継続的に実施していく必要がある。		継続
149	「健康交流のみちづくり」 事業	道路総務課	歩行者の視点に立った新たなみちづくりの展開として、本市の魅力ある河川堤防を活用した歩行空間のネットワーク化を通して、市民の健康と交流を支えるみちづくりを行う。 メインルートの総延長52kmの内の整備対象延長13.5km(工事着手はH20年度から)	整備延長 0m	5,269	5	4	4	4	5	22	河川堤防を利用したみちづくりを図り、市民の健康とふれあいの場創りを推進し、市民生活に直結した要望事項の実現を図る必要があるため。		拡大
150	測地成果2000導入に 伴う座標変換事業	道路管理課	測量法の改正に伴い、公共測量の基準点を日本測地系から世界測地系に移行し、座標値の変換を進め、高精度のデータ供給等が可能となったことから、土地利用など経済活動の活性化が図られる。 座標変換システムの構築 1.0式 道路境界点の座標変換 48,200点	道路境界点の 座標変換 48,200点	23,543	5	4	4	5	5	23	高精度な公共測量の執行によって、多方面、多機能なデータ活用を容易にし、土地利用などの経済活動の活性化に繋がるため、継続して実施する必要がある。		継続
151	国土調査事業	道路管理課	国土調査法に基づき土地の境界及び地積に関する測量を行い、一筆ごとの地籍を明確化し、土地に関するトラブルの防止と個人の権利や財産の保全ができるようになった。	調査実施面積 0.09km ²	15,369	5	4	4	5	5	23	土地利用の転換を求められている密集市街地での事業実施を継続していく必要があるため。		継続
152	街路整備用地取得事 業(幹線市道課)	幹線市道課	交通渋滞の緩和を促進するための街路整備に必要な道路用地を確保する。 道路整備計画に基づく用地取得計画により、計画的かつ効率的に用地取得が行われ、都市計画道路の整備促進が図られた。	取得面積 1,089.64㎡	243,475	5	5	3	5	5	23	都市計画道路整備計画に基づき、有効的な街路整備を図るため、継続していく必要があるため。		継続
153	交通安全施設用地取 得事業(幹線市道課)	幹線市道課	道路整備計画に基づく用地取得計画により、計画的な用地取得が図られ、交通安全施設の整備促進が図られた。	取得面積 273.80㎡	8,559	5	5	3	5	5	23	交通安全の確保は、優先課題であり、安心・安全な道路環境の整備に継続して取り組んでいく必要があるため。		継続
154	道路新設改良用地取 得事業(幹線市道課)	幹線市道課	幹線道路の整備に必要な道路用地の取得を行う。 道路整備計画に基づき、計画的な事業用地の取得が図られ、道路整備を進めることができた。	取得面積 106.16㎡	44,392	5	5	3	5	5	23	道路整備計画に基づき、交通渋滞解消を図るため、継続していく必要があるため。		継続
155	都市計画道路整備事 業	幹線市道課	都市計画道路を整備し、地域幹線道路とネットワーク化したことにより、交通渋滞の解消と地域交通の円滑化を図った。 都市計画道路の整備延長 774m	整備延長 774m	233,089	5	5	3	5	5	23	事業化路線を決定するために、様々な視点からの事業効果を想定し、有効的に事業を推進していく必要があるため。		継続
156	橋りょう架替事業(幹 線市道課)	幹線市道課	中心市街地とぼうさいの丘公園を連絡する路線の亀の子橋(恩曾川)を架け替えし、災害時の避難路として整備した。	橋りょう整備 1橋	210,048	5	5	4	5	5	24	災害時の避難路の確保のため、積極的な事業推進を図り、完了した。		完了
157	交通安全施設整備事 業	幹線市道課	1・2級市道に係る歩行者の通行(通学路や公共施設周辺部)の安全性に配慮し、計画的に歩道整備を実施する。特に、バリアフリーの視点から安全且つ円滑な歩行空間の確保に努めた。	歩道整備延長 651m	154,751	5	5	3	5	5	23	安心、安全な市民生活が確保されるように、人に優しいみちづくりを推進していく必要があるため。		継続
158	道路新設改良事業	幹線市道課	道路整備計画に基づく整備が図られ、交通渋滞の緩和と地域間交通の円滑化を図った。	道路新設改良延長 1,011m	267,499	5	5	3	5	5	23	地域間を連絡する準幹線的な道路整備であり、市民生活活性化のためにも、順次、計画的な事業推進を図っていく必要があるため。		継続

平成19年度行政評価(平成18年度実施計画事業)

No.	事業名称	所属名称	事業説明	事業指標	H18年度 決算額 (単位:千円)	事業 の 必要 性	事業 の 優先 性	事業 の 経済 性	事業 の 有効 性	事業 の 公平 性	合計	評価結果の具体的理由	仕分け 結果	評価結果
159	交差点等改良事業	交通渋滞対策課	交差点改良及びバスベイ設置等により、道路交通利用者がスムーズで安全な通行を可能とした。	渋滞緩和箇所数 4箇所	148,892	5	4	3	4	4	20	市内交通の動向変化を見極め、交通の円滑化のため、即効性などの判断により、事業推進に努める必要があるため。		継続
160	交差点等改良用地取得事業	交通渋滞対策課	交差点等改良事業に必要な道路用地を確保し、交通渋滞の緩和を促進する。	協力者数 3人	8,089	5	4	4	4	4	21	市内交通の動向変化を見極め、交通の円滑化のため、即効性などの判断により、事業推進に努める必要があるため。		継続
161	温水恩名連絡道路整備事業	特定路線整備課	沖原交差点から水引小野線を経由し、恩名仲町交差点を結ぶ延長1,100mの路線で、地域内交通の分散化と利便性の向上を図ることと併せ、ぼうさいの丘公園連絡道路と連絡することで、災害時の避難路及び物資の緊急輸送路として整備した。 周辺幹線道路交通量 21,890台(H17年度比 7,410台)	整備延長 1,070m	1,470,420	5	5	4	5	4	23	交通渋滞対策路線及び災害時避難路として、積極的な事業推進を図り、完了した。		完了
162	厚木環状2号線街路整備事業	特定路線整備課	交通渋滞の解消の推進に向け、水引小野線から愛甲長谷線までの整備で、県道上粕屋厚木線等と連絡し、ぼうさいの丘公園への主要アクセスとして地区間を結ぶ環状系道路として、交通渋滞解消、防災拠点への主要な連絡道路の整備を図った。 通過時間の短縮 3.15分	整備延長 535m	620,165	5	5	4	4	4	22	交通渋滞対策路線及び災害時避難路として、積極的な事業推進を図り、完了した。		完了
163	厚木環状3号線街路整備事業	特定路線整備課	交通渋滞の解消の推進に向け、県道相模原大磯線から毛利台までの区間を整備することで、県道上粕屋厚木線、水引小野線へ連絡し、業務施設集積地区(森の里地区)への主要アクセスも確保され、地区間を結ぶ環状系道路形成による交通渋滞の解消が図られた。	整備延長 300m	190,645	5	5	3	5	4	22	広域的な道路ネットワークの構築を行う事業であり、交通渋滞解消のため、継続して実施する必要がある。		継続
164	街路整備用地取得事業(特定路線整備課)	特定路線整備課	環状系都市計画道路として、交通渋滞の解消と車両通行の円滑化を図ることと併せた交通導線の確保。道路整備計画に基づく用地取得計画により、計画的かつ効率的に用地取得が行われ、都市計画道路の整備促進が図れた。 取得面積 100.08㎡ 路線数 1路線	取得面積 100.08㎡	82,097	5	5	3	5	4	22	広域的な道路ネットワークの構築を行う事業であり、交通渋滞解消のため、継続して実施する必要がある。		継続
165	大井交差点改良事業	特定路線整備課	交通渋滞の解消の推進に向け、水引小野線の交通渋滞緩和策として、二つの交差点(萱山、大井交差点)の統合による交通流動の円滑化と歩行者への安全確保を図った。 通過時間の短縮 0.4分	交差点改良延長 220m	72,039	5	5	4	5	5	24	交通渋滞解消のため、積極的な事業推進を図り、完了した。		完了
166	相模川右岸堤防国道246号ランプ新設事業	特定路線整備課	国道129号金田陸橋交差点付近の慢性的な交通渋滞の解消と、車両通行の円滑化を図り、広域的な交通導線の確保をめざし整備を図った。 金田陸橋交差点将来交通量 45,515台	整備延長 200m	267,565	5	5	4	5	5	24	交通渋滞解消のため、積極的な事業推進を図り、完了した。		完了
167	道路交通施設改善事業	生活道路課	中心市街地の無電柱化により、円滑な交通の確保や都市景観に配慮した人優先の道路整備を図るとともに、災害に強いまちづくりのため、駅周辺の道路交通における障害を解消するためのバリアフリー化・無電柱化の工事を実施したことで、高齢者や障害者も安心して外出できる歩道のバリアフリー化が推進された。 平成22年までに整備完了を目指す。	改善箇所数 2箇所	408,859	5	5	5	5	4	24	スーパーモデル地区に相応し、的確な都市基盤整備が求められており、計画的に事業を推進していく必要があるため。		継続
168	急傾斜地崩壊対策事業	生活道路課	急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命・財産を守る。急傾斜地の整備をし、急傾斜地崩壊による災害から市民の生命・財産を守った。 整備延長 110m	がけの施工済 総延長 3,791m	15,987	5	5	4	5	4	23	市内には、未指定、未着手の箇所が多く残されていることから、継続して実施していく必要がある。		継続

平成19年度行政評価(平成18年度実施計画事業)

No.	事業名称	所属名称	事業説明	事業指標	H18年度 決算額 (単位:千円)	事業 の 必要 性	事業 の 優先 性	事業 の 経済 性	事業 の 有効 性	事業 の 公平 性	合計	評価結果の具体的理由	仕分け 結果	評価結果
169	橋りょう架替事業(生活道路)	生活道路課	幅員が狭く老朽化した橋を架け替える((仮称)温水上の橋)ことにより、近年の車両の大型化と交通量の増大への対応を図ることや耐震化と併せ、橋りょうの通行者の安全と円滑な交通を確保した。	橋りょう架替 1橋	95,003	4	4	4	5	4	21	近年の車両の大型化と交通量の増大への対応や耐震化と併せ、橋りょうの通行者の安全と円滑な交通を確保する必要があるため。		継続
170	交通安全施設整備事業(生活道路)	生活道路課	通学路等に利用されている道路に歩道を整備し、歩行者の安全を確保した。 生活道路の歩道整備延長167m	整備延長 167m	62,784	5	4	4	4	4	21	交通安全の確保は、市民からの要望も多く、最優先課題であり、安心・安全な道路環境の整備に積極的に取り組んでいく必要があるため。		拡大
171	交通安全施設用地取得事業費(生活道路)	生活道路課	道路を利用する歩行者及び自転車の安全な通行を確保するため、歩道整備に必要な道路用地を取得した。	取得面積 1,369㎡	70,770	5	4	4	4	4	21	安心、安全な市民生活が確保されよう、人に優しいまちづくりが必要であり、継続して実施していく必要がある。		継続
172	道路新設改良事業(生活道路)	生活道路課	地域間を連絡する主要交通路線や幹線市道のネットワークを補完する路線を拡幅整備したことにより、市民が安全で安心して快適な日常生活が営めた。 生活道路の拡幅整備件数 24件	整備箇所数 24箇所	360,842	4	4	4	4	5	21	多くの市民要望に対して、地域のバランス、利用実態、道路機能の充実や優先性などに配慮しながら、積極的に取り組んでいく必要があるため。		拡大
173	道路新設改良用地取得事業(生活道路)	生活道路課	地域間を連絡する主要交通路線や幹線市道のネットワークを補完する路線を拡幅整備するための用地を取得し、市民が安全で安心して快適な日常生活が営める道路新設改良事業を推進した。	取得面積 2,333㎡	243,866	4	4	4	4	5	21	多くの市民要望に対して、地域のバランス、利用実態、道路機能の充実や優先性などに配慮しながら、積極的に取り組んでいく必要があるため。		拡大
174	道路里親制度事業	道路維持課	道路施設等の維持管理をボランティア活動により実施し、居住環境の向上と地域コミュニティの実現を図り、市民との協働によるまちづくりを推進した。 ボランティア登録団体等 6団体(平成19年3月現在)	新規ボランティア登録団体数 4団体	2,258	5	4	5	4	4	22	市民参加によるまちづくりシステムは益々重要になると考えられ、事業の拡大、普及に努める必要があるため。		拡大
175	橋りょう耐震補強事業	道路維持課	広域避難場所への経路となる重要な橋りょうの落橋防止の対策を実施し、大規模地震に備え市民の安全を確保した。 耐震補強を計画した橋りょう67橋(47橋)の内、耐震対策が完了した橋の数 45橋	整備数 1橋(銅座橋)	6,695	5	5	3	4	4	21	災害時の避難路の確保のため、積極的な事業推進を図り、完了した。		完了